

# 磐田市文化ゾーンの活性化方針【概要版】

## 1 策定の背景・目的

### (1)策定の背景

令和4年度に磐田市民文化会館「かたりあ」が開館し、周辺には文化芸術・スポーツ関連施設が集積されました。これを契機として、このエリアを「文化ゾーン」として位置づけて、各施設がそれぞれの特徴を活かして魅力を高めて、誰もが気軽に学び合い・体験できる環境を充実させるとともに、その学び合いや体験をきっかけに新たな人の交流や賑わいの創出を図るなど、地域の活性化や本市の新たな価値創造に繋げていくことを目指して方針を策定するものです。

### (2)方針の目的

この方針は、文化ゾーンにある施設や地域資源の利活用を総合的かつ計画的に、効果的に進めるために、活用方法や必要な機能等に関する基本的な考え方を示したものです。

## 2 文化ゾーンの施設・エリア



## 4 取組イメージ ※これらはイメージであり、確定した整備計画ではありません

### 【中心エリア】(学び合い・体験・発揮・発信・チャレンジ・環境づくり)

期間	取組のイメージ			
短期(3年)	<b>学び合い・体験する</b>  (ワークショップ) (体験講座)	<b>文化芸術に触れる</b>  (絵画) (工芸)	<b>本物に触れる</b>  (プロスポーツ) (有名人の舞台公演)	<b>成果の発揮</b>  (ダンス大会) (舞台上演)
中期(4~9年)	<b>成果の発揮</b>  (全国ダンス大会)	<b>新しいことへのチャレンジ</b>  (トレーラーハウス ショップ/カフェ)	<b>長く・楽しく・交流を深めることができる環境</b>  (子供の遊び場)	
長期(10年以上)	<b>長く・楽しく・交流を深めることができる環境</b>  (カフェ/飲食店) (地場産品/土産物店) (工場直売店) (資料館) (ユニークベンチ)			

## 3 基本目標・基本方針

### (1)基本目標

## “文化×交流！そこからはじまる未来へ輝く人・地域づくり”

- ・誰もが気軽に学び合い・体験できる環境を充実させて人や地域を育むとともに、「次への一步」を支援するため、新たなことにチャレンジできる仕掛けづくりを行います。
- ・文化ゾーンエリア全体で一体感を高める取組を進めることで、地域の活性化を図り、本市の新たな価値創造に繋げていきます。

### (2)基本方針

この方針を持続的に推進するため、市民、地域、学校、企業等の多様な関係者と新しい枠組みを構築し、新たな価値や仕組み・事業などをみんなで共に創っていく「共創」により取組んでいくことを前提とします。

### 【方針1】 中心エリアを活かした取組

- ①市民が身近に文化・芸術・歴史など学び合い・体験ができる取組を行います。
- ②一人ひとりが目標を持って成長し、成果を発揮できるように演劇、ダンス、ミュージカルなどの舞台上演や大会の開催誘致に努めます。
- ③たくさんの人たちが身近に文化芸術に触れる機会をつくるため、作品などを展示・発信する場の整備や全国・プロレベルの大会開催など、本物に触れる機会を提供します。
- ④作品販売やカフェ開業など、新しいことにチャレンジできる仕掛けづくりを行います。
- ⑤誰もが気軽に訪れて長く楽しく、交流を深めることができる環境づくりに努めます。

### 【方針2】 文化ゾーン全体の取組

- ①新たな人の交流やにぎわい創出を図るため、文化ゾーン全体の一体感を高めるための取組を行います。

### 【全体エリア】(交流促進・にぎわい・回遊)

期間	取組のイメージ			
短期(3年)	<b>連携の強化</b>  (連携イベント) (連携チケット)	<b>回遊性の向上</b>  (イルミネーション) (スタンプラリー) (観光パンフレット)		
中期(4~9年)	<b>回遊性の向上</b>  (路線バス) (シェアサイクル)	<b>回遊性の向上</b>  (各施設を結ぶ照明アート) (無人低速車両)		
長期(10年以上)				

…特に外部・民間活力を主体とした「共創」での取組が必須